

## 急増しているマイコプラズマ肺炎

国立感染症研究所が先月下旬に発表した速報値資料を見ますと、呼吸器感染症のひとつである「マイコプラズマ肺炎」の患者数がここ最近の動向では過去10年で最多のペースで増えている状況にあります。前年の同期間と比べても40倍超となっており、新型コロナウイルス対策で患者が減っていた状況が、逆に免疫を持たない人が増えたことで新たな感染者が増えていると思われます。この病気はほぼ4年に一回の周期で流行していることから「オリンピック肺炎」との異名もあります。

### そもそも、マイコプラズマ肺炎とは？

頑固なせきをともなう呼吸器感染症で、小児や若い人に比較的多く発症します。マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症ですが、例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられません。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

### 症状としては、

発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます(せきは少し遅れて始まることもあります)。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きます(一般に、小児の方が軽症で済むと言われています)が、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。また、5~10%未満の方で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。

### 感染経路は？

感染した人のせきのしぶき(飛沫)を吸い込んだり(飛沫感染)、感染者と接触したりすること(接触感染)により感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2~3週間くらいとされています。

### 治療法としては？

当クリニックでは、マクロライド系などの抗菌薬で治療します。軽症で済む人が多いですが、重症化した場合には、入院して治療することを勧めます。また、マクロライド系抗菌薬が効かない「耐性菌」に感染した場合は他の抗菌薬で治療します。



クリニック名古屋ちくさヒルズ  
林祐司 院長

上述の感染研究所の速報資料細部を見ますと、当地愛知県では1医療機関当り3.27人、隣の岐阜県では3.4人、三重県では0.33人というデータが出ています。

予防対策としては、普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、まずは疑って早めの治療が必要です。安易な楽観視をすることなく、遠慮なく一度当クリニックに来院してください。

# クリニック通信のリニューアル版発行で！



財団榎原会  
林 衆治 理事長

2021年3月に名古屋市千種区にて開業しております、クリニック名古屋ちくさヒルズでは患者様、地域の方々に向けて～医療を身近に～を合言葉に「心・体・暮らしに寄り添うクリニック通信」を創刊し、以来毎月発行で現在3年余を経過しております。

お陰様で、地域の皆様、患者様からは「本当に医療をわかりやすく伝えていただき、私たちに寄り添っていただく情報紙として感謝しています」とのお声を多く聞かせていただいております。

この度、9月発行より紙面をリニューアルする機会に合わせ、この情報紙クリニック通信を医療法人榎原会としてのクリニック名古屋ちくさヒルズ・クリニック東京虎ノ門CORの二つのクリニックの共有情報紙として発行していくこととなりました。首都圏地域の皆様、すでにクリニック東京虎ノ門CORにご来院いただいた患者様にも名古屋同様に医師・スタッフ一同「心・体・暮らしに寄り添うクリニック」として身近な情報発信に努めてまいり所存です。日頃の健康管理の上でご参考にされればと願う次第です。

さて、折角の機会ですのでこの紙面を借りましてクリニック東京虎ノ門CORにつきまして改めて紹介をさせていただきます。当クリニックは名古屋のクリニックに続いて2022年7月に当地で開院させていただきました。

整形外科・内科・形成外科の一般診療(保険診療)に加えそれらの領域に関する再生医療の幹細胞治療やPRP治療等自由診療として行っております。この分野ではこれまでに、幹細胞治療は約350症例、PRP治療1600症例の実績を積み重ねてきております。現在ではCアーム型デジタル透視システムや内視鏡関節ニードルスコープ等を用いた日帰り手術も整え、患者様一人一人に安全で確かな治療をそれぞれの専門医が提供しております。

まずは各領域でお悩みの方にはご来院いただければと思っております。

## トピックス

## ニードルスコープ(針関節鏡)を用いた日帰り手術を行いました



医療法人財団榎原会クリニック名古屋ちくさヒルズでは、2024/7/18(木)、膝関節疾患の患者様に対し、ニードルスコープ(針関節鏡)を用いた日帰り手術を行いました。膝関節疾患への極小低侵襲手術は、東海中部地方で初めてで、日本でもほとんど行われた経験がありません。

ひざ関節疾患は、高齢者の変形性関節症やスポーツ外傷などの領域で、患者数は増加しており、生活の質や健康満足度に大きな影響を与えています。ひざ関節に対する関節内視鏡検査、関節内視鏡治療は、一般的な外科的治療に比べて低侵襲とはいえ、腰椎麻酔または全身麻酔下で行い、数日間以上の入院を必要とします。私ども医療法人財団榎原会クリニックでは、直径1.9mmの極細関節内視鏡(通称 ニードルスコープ)を用いて、膝関節疾患に対する日帰り内視鏡検査内視鏡治療を実施しております。ニードルスコープによる膝関節治療は、中部東海地方初であり、国内でもほとんど実施されていません。

ニードルスコープは、非常に細いため、局所麻酔下を実施することが可能であり、患者様に対する侵襲も最小と考えられます。しかも入院の必要がないために、入院が困難な高齢者や忙しいビジネスマンなどには、最適の手法として欧米では広まっています。欧米では、MRIでは診断ができない詳細な病変をニードルスコープで診断し同時に治療する日帰り治療が普及しつつあります。

## 健康の知恵袋

東京でも開業されたと言うお話は何っておりましたが、こんな素敵なお話なんですね。私も一度行ってみたいですね。

医療法人財団 榎原会

クリニック 東京虎ノ門COR



広報紙 「医療法人榎原会クリニック通信」  
発行 医療法人財団榎原会 クリニック名古屋ちくさヒルズ  
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2  
千種タワーヒルズ1F

ご意見はこちらまで [info@clinic-chikusahills.com](mailto:info@clinic-chikusahills.com)

編集・発行 医療法人財団榎原会 編集委員会  
(原稿責任者 川島和信)

発行日 毎月1日

## 厚生労働省が初の指針！

今年の暑い夏、アルコール量が増えていませんか？

## 少量飲酒でも健康リスクが！

飲酒量が少ないほど病気のリスクは下がると、厚生労働省は今年に公表した初の指針「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」で「お酒は少量なら飲んだ方が体に良い」との考えを否定し、少量でも発症リスクが上がる病気があることを強調した公表内容でした。近年充実してきた国際的な研究を重視した結果で、体への影響は性別や年齢などによって差があるため、自分に合った飲み方を知ることが重要だと言っています。

### 飲酒に適量はない！

「酒は百薬の長」と、国内では適度の飲酒を積極的に評価する考え方が長く受け入れられてきましたが、指針は飲酒のリスクに注目し、「飲酒量が少ないほどリスクは低くなる」とする世界保健機関（WHO）や国際的な研究報告に触れた上で、酒量の把握には単純な量でなく、純アルコール量に着目すべきだとしています。

心臓血管系の病気については、少量の飲酒は全く飲まない場合より死亡率が低いとの報告もあったようですが、近年、少量でも悪影響があるとの研究報告が増加し「適量はない」との見方が有力になってきました。指針はこうした動向を反映して、疾患ごとの発症リスクを例示し、男女ともに、少量の飲酒でもリスクが上がるのは高血圧。男性の胃がん、食道がん、女性の脳出血も飲酒自体がリスク。また、1日当たりビールロング缶（または中瓶）1本や日本酒1合に当たる純アルコール量20グラム以上を摂取すると、男女ともに大腸がんのリスクが上がるほか、男性は脳出血や前立腺がん、女性は胃がん、肝臓がんのリスク増につながる指摘しています。

### 女性への影響は！

指針は年齢、性別、体質などにより、体が受ける影響が異なるとしていて、特に女性は男性に比べ体の水分量が少ないことなどからアルコールの影響を受けやすいと結論付けています。1日の純アルコール量20グラム未満の摂取でも脳梗塞や乳がんのリスクが高まると言っています。

今日では飲酒する女性は増加傾向にあって、厚生労働省研究班の確か数年ほど前の調査では飲酒率は6割を超えていたと記憶しております。それに伴って、女性のアルコール依存症も増えており、依存症はピークが30代と若く、摂食障害など精神面の合併症が多いのが特徴のようです。飲酒時に性犯罪に巻き込まれるケースも依然として後を絶ちません。女性の体に対するアルコールの影響は男性よりも格段に大きいことを意識して、常に節度を持って楽しく時を過ごすことを心がけてください。



クリニック名古屋ちくさヒルズ  
林祐司 院長



# みなさん、もう既に新札には馴染み始めていますか？

野口英世先生に続き、北里柴三郎先生が紙幣の肖像画に使われることになったことは、医療が社会にとって欠かせないことの裏付けではないでしょうか！

この機会に「北里柴三郎」と言う人物像を深掘りしてみましょう。



財団榎副会 理事長  
林 衆治 先生



先月、日本医師会では北里柴三郎の肖像画を用いた新千円札発行を記念して一般向けのシンポジウム「受け継がれる北里柴三郎の志」を開催しましたが、その内容の一部を紹介してみましょう。

北里英郎・北里柴三郎記念館館長は、釜蒔敏・日医副会長との対談の中で、幾多の困難を克服しつつ、破傷風やペストなど様々な研究に取り組み、多数の新たな組織を立ち上げた柴三郎について、「学校に行きたくても行けない幼少期の境遇が、『自分で人生を変えよう』というその後の人生のバイタリティーになった」と振り返っていました。

北里柴三郎先生は破傷風菌の純粋培養(破傷風菌だけを取り出し培養する)や血清療法確立、ジフテリアと破傷風の抗血清開発など、細菌学の分野で多大な功績を上げ、国内外での伝染病予防と治療に貢献したことで知られていますが、そこには、医の基本は予防にあるという信念がありました。一般の人に感染症に関する正しい知識を届けるため、全国各地で講演したりして、「人々の意識を変えることが一番大事だと、常に言っていた」との柴三郎のエピソードも紹介されていました。

北里柴三郎が留学先のドイツから帰国後、慶應義塾の学祖、福澤諭吉が私財を投じて支援、その恩に報いるため慶應大医学部の創設に尽力、1920年には病院を開設した経緯などの紹介もありました。

柴三郎は「基礎医学と臨床医学との懸隔(両者との隔たり)を努めて接近せしめる方針を貫き、「学部は恰も一家族の如く、教授も講師も助手も一致協力して」との言葉を残しています。

2017年8月から2021年5月まで慶應義塾大学病院の病院長を務められた北川院長先生は2020年、新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生した折に、その対応に向け自然発生的に「ドンネルプロジェクト」が起きたと言います。柴三郎は、その人柄からドンネル(雷おやじ)と呼ばれており、「基礎の研究者たちがコロナ診療も支援をする、そしてその研究力を生かしてコロナの病態解明や診断・治療法を研究する。まさに基礎と臨床が一体となって活動が始まり、何とか病院機能や教育・研究機能を取り戻し、100年後に北里先生の志に救われた」などと回顧されていました。

## 健康の知恵袋



同じ女性の立場として新5千円札に津田梅子が採用されたのはうれしく思います。彼女は日本の女子高等教育の草分け的な存在で、女子英学塾を創設し、生涯にわたって女子教育に尽力された功績が評価されての採用がすんなりと決まったそうですね。

広報紙 「医療法人榎副会クリニック通信」  
発行 医療法人財団榎副会 クリニック名古屋ちくさヒルズ  
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2  
千種タワーヒルズ1F

ご意見はこちらまで [info@clinic-chikusahills.com](mailto:info@clinic-chikusahills.com)  
編集・発行 医療法人財団榎副会 クリニック名古屋ちくさヒルズ  
編集委員会(原稿責任者 川島和信)

発行日 毎月1日